

住宅用火災警報器を取り付けよう！



火災から大切な家族を守るため、
一日も早く住宅用火災警報器を設置しましょう！

1、どんな住宅用火災警報器を取り付けるの？

- ① 原則として、煙式の住宅用火災警報器を設置します。
ただし、台所で換気が悪いなど火災以外の煙を感知するおそれのある場合は、熱式の住宅用火災警報器を設置することもできます。
- ② 電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで購入することができます。購入の目安として、下のマークが付いているものを選びましょう。

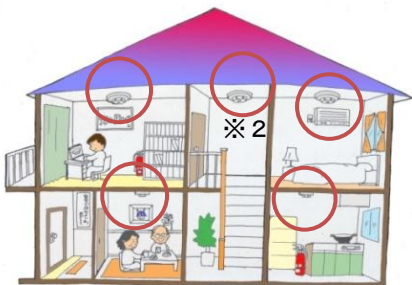


※1 平成22年3月31日にまでに取り付け
た場合に限り認められています。

2、住宅用火災警報器の取り付け場所は？

- すべての居室と階段、台所の天井または壁に設置が必要です。
(浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません。)
- 自動火災報知設備やスプリンクラー設備が設置されている部屋等は、設置の必要はありません。

一戸建ての場合



※2 3階建ての場合は、1階と3階の階段の踊り場に設置が必要です。

マンションやアパートの場合

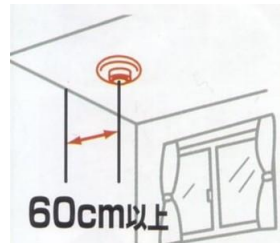
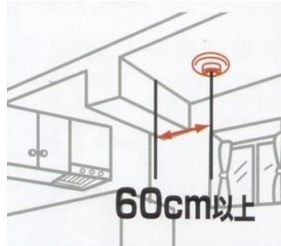


- 基本的には、1階建ての一戸建てと同じです。
- メゾネットタイプの場合は、階段にも設置が必要です。
- 建物の共用部分である階段、廊下、エレベーターホール等には、設置の必要はありません。

3、住宅用火災警報器の取り付け位置は？

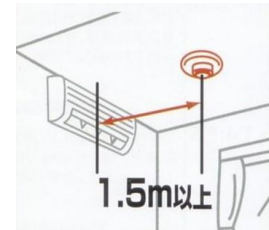
《天井に取り付ける場合》

- 壁やはりから60cm以上離れた、天井の中央付近に取り付けます。
(熱式の場合は、40cm以上)



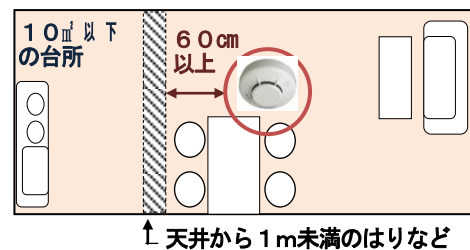
《ここに注意！！》

- ▶ エアコンの吹き出し口や換気口などの位置から、1.5m以上離しましょう。
- ▶ ストープなどの熱または煙の影響を受けない位置にしましょう。



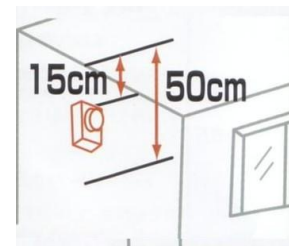
《ダイニングキッチン（DK、LDK）などの場合》

10㎡以下の台所で、居室との仕切りがない場合、また、あっても天井から1m未満のはりやつり戸棚などの場合は、設置しないことができます。この場合、居室の警報器は、はりなどから60cm以上離れた台所に近い位置に取り付けます。



《壁に取り付ける場合》

- 天井から15cmから50cm以内に住宅用火災警報器の中心がくるように取り付けます。
- 30㎡以上の台所の壁に取り付ける場合は、煙式の住宅用火災警報器とします。



◆ ご注意ください！ ◆

- ① 警報器の機種によって、取り付けの注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ず確認してください。
- ② 取り付けは、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を安全に行ってください。